

## 高等学校ホームルーム活動指導案

### 1. 拉致問題に取り組むに当たって

現代社会等公民科の授業において、国際社会における政治や経済の状況を踏まえ、人権、国家主権、人種・民族問題等について理解をした上で、DVDアニメ「めぐみ」や「子どもの権利条約」などを教材として、拉致問題を人権問題の一つとして学習する。

ホームルーム活動での指導に当たっては、校内研修等の機会を利用して、教職員間で人権や拉致問題に関する共通理解を図っておく必要がある。また、国内外における人権問題や拉致問題の解決に向けて自己の課題として受け止め、どのように自分が関わっていけるかを考えさせる。

なお、他の都道府県の人権教育の手引き（指導資料）や拉致問題に関する学習指導事例を参考にしながら、生徒の実態に応じて指導を工夫することも大切である。

### 2. 本時の目標

対応する学習指導要領の指導事項：

ホームルーム活動（2）ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

（1）拉致問題を人権問題の一つとして捉え、この問題への理解を深めさせる。

【人権や拉致問題への知識・理解】

（2）拉致被害者家族の思いや願いに共感し、拉致問題の解決に向けて関わっていこうとする意欲や態度を育てる。

【人権感覚の涵養】

### 3. 本時の学習

（1）本時の教材

- ①現代社会等の教科書
- ②拉致問題対策本部等の資料
- ③DVD アニメ「めぐみ」
- ④子どもの権利条約カード  
（子どもの権利条約 日本ユニセフ協会抄訳）
- ⑤ワークシート



(2) 展開

|       | 活動内容 ○活動を促す主な発問   | 指導上の留意点 【活動の形態】   |
|-------|---|---|
| 導 入   | 1 拉致問題について理解する。<br>○『「拉致」という言葉からどのようなことを思い浮かべますか。』  | ○ 拉致問題の背景について、教科書や資料、年表等を用いながら理解につなぐ。【個】  |
| 展 開   | 2 DVD アニメ「めぐみ」を視聴する。<br>※ (1)～(5)の中から2～3つを選択する。<br><br>(1) めぐみさんがいなくなった時の両親の気持ちを考え、話し合う。<br>○「めぐみさんが突然いなくなった時、両親はどんな気持ちだったでしょう。」<br><br>(2) 渡された遺骨と写真に対する家族の思いを考え、話し合う。<br>○「遺骨と写真を渡された時、家族はどんな気持ちだったでしょう。」<br><br>(3) めぐみさんはどのような権利(人権)を奪われたのか考え、話し合う。<br>○「めぐみさんは拉致によってどのような権利を奪われたでしょう。」<br><br>(4) 街頭で救出を呼び掛ける両親の気持ちを考える。<br>○「街頭で救出を呼び掛ける両親はどのような気持ちだったでしょう。」<br><br>(5) その他に、印象に残った場面について、めぐみさんやその家族の気持ちを踏まえて話し合う。<br>○「(1)～(4)以外でどんな場面が印象に残りましたか。その場面について、班の人たちと意見交換をしてみよう。」<br><br>(6) 意見交換を振り返り、拉致問題に対しての自分の考えをまとめる。 | ○ 拉致されためぐみさんや、後に残された家族の思いを想像しながら視聴するよう促す。<br><br>○ 悲嘆にくれる両親の姿に自分の家族を重ね合わせることによって、自己の問題として考えるよう指示する。【個→班】<br><br>○ 拉致被害者(めぐみさん)が奪われた権利について「子どもの権利条約」を用いながら考えるよう指示する。【班→全体】<br><br>○ 全国を巡り、この問題について正しい理解と協力をもとめて必死で活動する両親に寄り添った共感的理解を促す。【班→全体】<br><br>○ 拉致されためぐみさんや、後に残された家族の思いを想像しながら意見交換を促す。<br>【個→班→全体】<br><br>○ 拉致問題に対しての自分の考えをまとめるよう促す。【個】 |
| ま と め | 3 拉致問題の学習をとおして、学んだことを発表する。<br>○「拉致問題について、どんなことを感じたり考えたりしましたか。また、どのように関わっていきたくて思いましたか。」  | ○ 拉致問題への関心と認識を深めていくことが大切であることを理解させた上で、この問題の解決に向けて自分としてどのように関わっていくか考えるよう促す。【個→全体】<br>※北朝鮮当局による拉致問題が、北朝鮮の一般の人々に責任を帰する問題ではないことを確認する。   |
| 評価の観点 | ○ 拉致問題について関心をもち、理解を深めることができたか。<br>○ 拉致被害者やその家族の思いを想像し共感することで、自己の課題として受け止め、この問題の解決に向けて自分としてどのように関わっていくかを考えることができたか。  |   |

## ワークシート

### 1. 拉致問題とは

- 「拉致」という言葉から  
どのようなことを思い浮かべますか。  
右の枠の中に書き出してみよう。

### 2. DVDアニメ「めぐみ」を視聴して

※ (1) ~ (5) の中から 2 ~ 3 つを選択する。

- (1) めぐみさんが突然いなくなった時、両親はどんな気持ちだったでしょう。

〔自分の意見〕

〔班の話し合いで出た意見〕

- (2) 遺骨と写真を渡された時、家族はどんな気持ちだったでしょう。

〔自分の意見〕

〔班の話し合いで出た意見〕

- (3) めぐみさんは拉致によってどのような権利を奪われたでしょう。

※ 「子どもの権利条約 日本ユニセフ協会抄訳」参照

〔班の話し合いで出た意見〕 ※記入例 第〇条

〔全体で確認〕

- (4) 街頭で救出を呼び掛ける両親はどのような気持ちだったでしょう。

〔班の話し合いで出た意見〕

〔参考になった他の人の意見〕

- (5) (1)～(4)以外でどんな場面が印象に残りましたか。  
その場面について、班の人たちと意見交換をしてみよう。

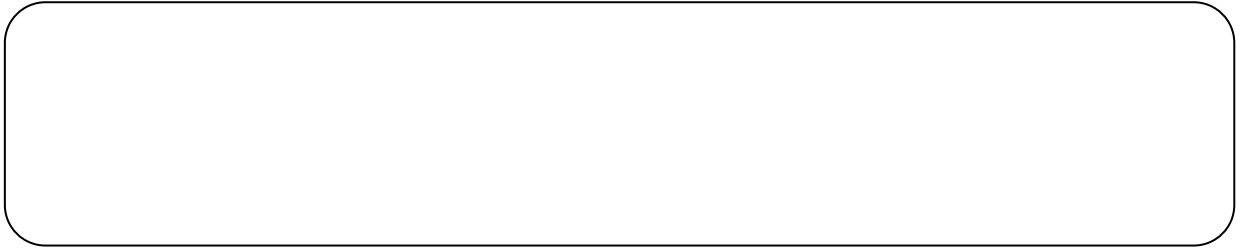
〔自分の意見〕



〔参考になった他の人の意見〕



- (6) 意見交換を振り返って、拉致問題に対しての自分の考えをまとめてみよう。  
〔まとめ〕



### 3. 拉致問題の学習をとおして

- 拉致問題について、どんなことを感じたり考えたりしましたか。  
また、どのように関わっていきたいと思いましたか。

〔自分の意見〕



〔参考になった他の人の意見〕



#### 《参考》

1. 北朝鮮当局による日本人拉致問題について  
詳しくは、内閣官房拉致問題対策本部ホームページを御覧ください。  
URL： <https://www.rachi.go.jp/>
2. 人権週間（毎年12月4日～10日）と北朝鮮人権侵害問題啓発週間（毎年12月10日～16日）について  
1948(昭和23)年12月10日の国際連合第3回総会において世界人権宣言が採択されたことを記念して、1949年に法務省と全国人権擁護委員連合会が12月10日を最終日とする1週間を人権週間と決めました。  
また、北朝鮮人権侵害問題啓発週間は、平成18年6月に施行された「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」において、国民の間に広く拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての関心と認識を深めるために設けられました。この啓発週間を中心に拉致問題の早期解決を訴えるための様々なイベントが実施されます。
3. 北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールについて（応募締切は例年9月末頃）  
政府拉致問題対策本部では、中高生を対象として、アニメ「めぐみ」を視聴し、さらに自分自身で拉致問題について学習し、理解を深めてもらうため、作文コンクールを実施しています。